

---

# アキとヒサヤス

福田 伶詩

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アキとヒサヤス

### 【Nコード】

N0463B

### 【作者名】

福田 伶詩

### 【あらすじ】

ありそつでなかったラブコメ。素麺のネタです。

(前書き)

注) コメディイの部類ですが細かく言つとラブコメです。

夏　　くアキと流しそうめんく

季節は夏。台風がたまに来るけれど、洗濯物がからからに乾く時期になった。

昼下がりにミンミンと忙しく鳴くセミを背景に、奥様達の『暑いわねく』で始まる井戸端の会議も無事終わり、夕食を作っている頃。今日で主婦3ヶ月目の彼女、前山空アキは、最愛の夫、前山央那ヒサヤスの帰りを待っていた。食卓には、央那の好きなきゅうりまで並べてある。しかし、彼は帰って来ない。

『「今日は早く帰るから。」って朝言ったよね。。。』  
と言いながら携帯電話を何度も開き、時間を気にしている様子。むしろ、いつもより遅い時間だ。多分。いや絶対。  
若奥様は、きゅうりが温まっている事に気がついた。急いで冷蔵庫に入れて、扉を閉じた。その時だった。

『ピーンポーン』

家のチャイム音と同時に、鍵の開くようなガチャ、という音がした。  
旦那さまのお帰りだ。

『ただいまく』

腹が立つほど上機嫌だ。だが酒を飲んでいた訳ではないらしい。シラフなだけマシだ。しかし、シラフだから許せない。

『お帰りなさい』

思いつきり怒りを滲ませながら、空は言った。自分の過ちに気付いたらしく、央那は

『どうしたの。。。?』

と、答えの分かつている質問をしてしまった。空の怒りはピークに達した。それとともに泣いてしまった。

『央那が、央那がつ、早く帰るって、今朝、言ったのにつ。バカあつ。ウソツキつ。』

『ごめん。。。ただ。。。』

『言い訳?』

『。。。言い訳になるかも知れない。でも、人によっては気に入ってくれると思う。』

どういう意味か、よく分からない。泣いている彼女はなおさらだった。彼は付け加えた。

『空ならきつと気に入ってくれる。』

そう言って、持っている大きな袋を彼女に渡した。見た目より重い。

『何これ。。。』

『流しそつめんセット。』

『えー!?!』

空は、これ以上もう涙が出ない。と、言うか、拍子抜けして止まっ  
てしまった。彼女は、流しそうめんを一度でいいからしてみたい、  
と、1ヶ月ほど前に言っていたのだ。そんな事覚えててくれたんだ。  
。。。と、彼女は呟いた。

『竹つばい素材で、部屋に入る大きさを、雰囲気出るのなんて、売  
つてなくて。。。ちょうど竹切ってるおっさんがいたから、1本も  
らって少し切ってきた。』

確かに竹は少し不格好だった。ちよつとだけ曲がっていたり、太さ  
が均一でなかったり、売り物には出来ないものの、素人が作ったに  
しては上出来だった。きつと、1本なんてウソで、3本くらいは切  
ったんだろう。手はかなり傷が出来ていた。

『遅くなってごめんなさい。』

央那は、頭を垂れた。空は、とても怒る気にはなれなかった。

『。。。うん。分かった。お腹減ったし、ご飯たべよっか。今日は  
きゅーりもあるから。ってあー!!ご飯炊き忘れた!!』

『マジでえ!?!。。。勘弁してください。』

『だって、なかなか帰ってこないんだもん。じゃあ今日は。。。』

「「流しそうめんにしようか。」「」

『おお!!--すっげえ!!--今の、結婚して初ハモリじゃね!?!』

『あー！おつゆ切らしてた。。。買ってきて？』

この時の空は、頼みというよりも脅しに近い状態だった。央那は仕方なく、

『分かった』

とだけ答えて、玄関を出て行った。

『ちゃんとそうめんも買ってきてね。』

『はいはい。』

『「はい」は一回。』

『はい』

『伸ばさない！！』

『はい。』

つたく、小学生じゃないんだから。という、央那のぼやきも、空は見逃さなかった。

『。。。なんか言った？』

『いえ、なにも。』

行っってきますっつ。』

央那は玄関をあせて飛び出す。あ、なんか歌ってる。

『 今日のご飯はそうめんときゅつり〜』

空は恥ずかしくなった。

『 あたしが手抜きのおさんみたいじゃん。。。そうめんときゅつりつて。。。』 (泣)

ま、いつか。空はお手製流しそうめんセットを見た。

こんな旦那さまだけど、世界で1番大好き。

いつもありがとう。これからもよろしくね。

。+。+。大好き。+。+。

e n d

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0463b/>

---

アキとヒサヤス

2011年1月28日12時25分発行